

古文書解読A2 ～江戸時代の古文書を学ぶ～

授業の目的と概要

古文書解読A1を受講して「くずし字」の基礎的な解読能力が身に付いた者を主な対象として、さらなる解読力の向上を目的として開講する。
古文書の画像をテキストとして、「くずし字」解読のトレーニングを行うと共に、古文書や日本史に関する一定度専門的な知識を習得する。

古文書の画像をテキストとして配布し、解読の方法を実践的に学習する。具体的には、解読を行う箇所をあらかじめ指示するので、受講者は予習してきた内容に基づいて解読文を順番に板書する。教員が添削した上で、解読文についてのディスカッションと内容の解説を行う。こうした輪読形式でテキストを読み進めることを通じて、「くずし字」の基礎的な解読能力を身に付ける。

授業の到達目標

古文書解読A1よりもレベルアップした「くずし字」の解読能力を身に付ける。そのことを通じて、自ら一次史料にあたって歴史・経済史・経営史などについて初歩的な研究ができるようになる。また地域の文化財保存・活用や地域文化教育などについて、より実践的な知識を獲得する。

担当教員 経済学部 青柳 周一 教授

開講曜限 木曜日 2限 (10:30~12:00)

開講日

10月 1、8、15、22、29日

11月 5、12、19、26日

12月 3、10、17日

1月 7、14、21日

会場 彦根キャンパス

受講形態 授業は対面で実施する。変更等ある場合は、SUCCESSなどを通じて早めに周知する。

『くずし字解読辞典 普及版』は、必ず購入すること。

【参考書】

『くずし字解読辞典 普及版』 児玉幸多編、東京堂出版、1993。

【参考文献】

より詳しく古文書を学習したい場合は、『くずし字用例辞典』がある。その他、古文書の内容と関わる歴史的な事項については『国史大事典』ほか歴史辞書類を参照。図書館で閲覧するか、Japanknowledge Libでも検索できる。

教科書情報 (補足)